

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



■ 東日本大震災への支援について

(続き)

津波で住む家を失ったり、相次ぐ余震への不安などから、何組かの被災者がきょうだいや知人を頼って本市に身を寄せられましたが、間もなくして、それぞれの事情からまた東北へ戻って行かれました。しばらく本市に滞在予定の被災者も複数残っていらっしゃると思います。本市では被災者の受入れ責任者を副市長と定め、その旨を県に届け出て、全力で支援に取り組んでいます。市民のみなさんのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

仙台市の避難所で1週間がんばってくれた保健師(1名)が4月24日、元気に帰ってきました。代替りの保健師(1名)は5月27日(金)から6月3日(金)までの予定で、福島県下の会津地方に出発します。行政職職員(1名)が4月21日から月末まで、福島県いわき市^{なごそ}勿来で支所業務や避難所の手伝いに汗を流しました。支所機能の回復まで、宇部市と一緒に、しばらく派遣を続ける予定です。

■ 本市の児童・生徒にまつわるエピソードを連載します

本市がここ数年取り組んできた生活改善・知能向上の成果を知りたい。山陽小野田市の子どもたちがどう変わってきたか。「子どもたちの今」を、いくつものエピソードを通じてもっと

市民に紹介してくれませんか…。ある「対話の日」に出た市民からの要望です。市役所に戻り、教育長と相談した結果、6月の広報紙から毎月1日号に、ご要望の趣旨のエピソードをシリーズで連載することにしました。どうぞお楽しみになしてください。

■ 臨時議会が開かれます

5月17日(火)から5月23日(月)まで市議会の臨時会が開催されます。約7億円にまで減った山陽オートの累積赤字を、平成23年度の収入をもって補てん(繰上充用)するための補正予算と、教育委員会委員等の任命の同意を求める議案などを提出しています。教育委員候補は、初の公募委員です。



▲東日本大震災被災地支援オートレース開催初日の4月14日にレース場であいさつをする白井市長

対話の日

5月26日(木) 14:00 ~
赤崎公民館